

## 目次

[今週号は 2022 年 9 月 22 日時点の情報を基に作成しています]

マクロ経済コラム：企業の景況感	1
日本株銘柄情報：日本動物高度医療センター(6039)	2
日本株銘柄情報：NexTone(7094)	3

## 企業の景況感

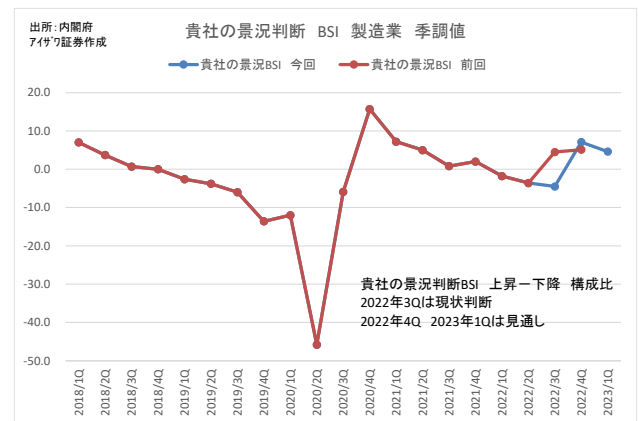
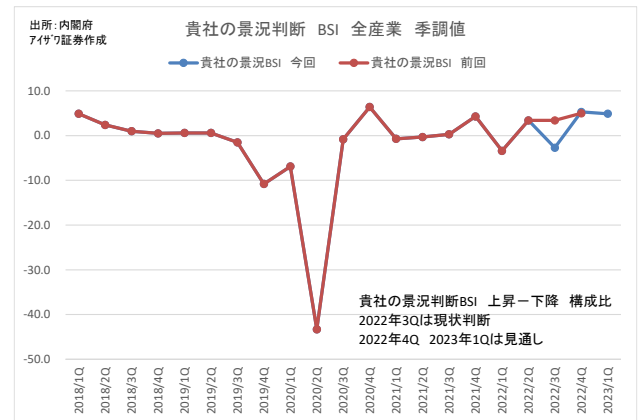
笹木 義次

2022 年 7 月から 9 月の法人企業景気予測調査が発表されました。「貴社の景況判断」BSI として企業の景況感が示されています。BSI とは、前四半期と比較して、企業の景況感が上昇したとする構成比から、企業の景況感が下降したとする構成比を引いたものです。これがプラスなら企業の景況感は改善傾向にある事を示し、マイナスなら企業の景況感は悪化傾向にある事になります。

2022 年 7 月～9 月の大企業の「貴社の景況判断」BSI 製造業はマイナス 4.5%ポイントとなり、前回調査のマイナス 3.6%ポイントから悪化しました。さらに、前回調査見通しの 4.5%ポイントも下回りました。景況感は悪化し、見通しに対しても下方修正されています。先行きの 2022 年 10 月～12 月と 2023 年 1 月～3 月にはそれぞれ改善を見込んでいます。ただし、足元で下方に修正されている事から、先行きも下方に修正されると筆者は見えています。

2022 年 7 月～9 月の大企業の「貴社の景況判断」

BSI 非製造業はマイナス 1.8%ポイントとなり、前回調査の 6.8%ポイントから悪化しました。さらに、前回調査見通しの 2.8%ポイントも下回りました。2022 年 10 月～12 月は改善見通しですが前回調査を下回っています。非製造業は改善を見込んでいますが緩やかなものになると筆者は見えています。



# 日本動物高度医療センター (6039)

笹木 義次

## 株価指標

株価 (2022/9/22) 1,885.0 円  
 売買単位 100株  
 市場 東証グロース  
 時価総額 46 億円

## 高度医療を提供

日本動物高度医療センターは、ペットの犬や猫に対して、高度な医療を行う 2 次診療専門の動物病院を運営しています。提携した地域の動物病院からの紹介を受けて診療を行っています。川崎本院、名古屋病院、東京病院の 3 つの施設を運営しています。2023 年 3 月に大阪病院の開院を予定しています。

## 今期は増益計画

日本動物高度医療センターの 2023 年 3 月期の業績は、売上高が 38 億 60 百万円と前年比で 29.6%の増収を営業利益は 5 億 35 百万円と前年比で 21.8%の増益を計画しています。2022 年 3 月に連結子会社化したテレコムの業績寄与を見込んでいるからです。テレコムは、酸素濃縮器とゲージからなる酸素ハウスを個人向けにレンタルしています。犬や猫のペットの酸素吸入を助けるものです。

## 大阪病院

テレコムの寄与を除くと 2023 年 3 月期の営業利益は減益計画となります。2023 年 3 月に開設を予定している大阪病院に関する先行的な費用計上を見込んでいるからです。大阪病院の開設に向けて、獣医師や動物看護師の採用を行うためです。競合する高度医療を提供する病院は少なく、日本動物高度医療センターの事業成長に寄与すると筆者は見ています。

## 獣医師採用が課題

## <業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2021/3	2,847	405	410	285	120.7	0.0
2022/3	2,979	439	438	286	121.0	0.0
2023/3計	3,860	535	540	365	156.9	0.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

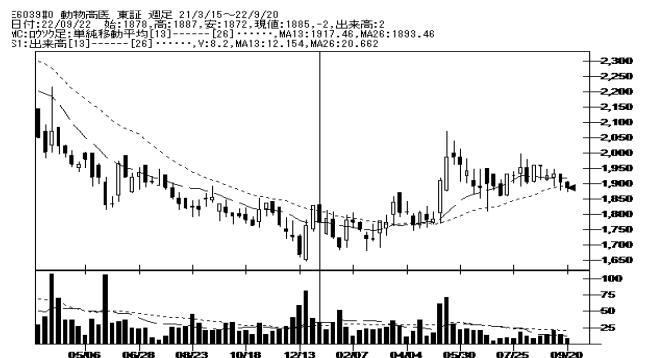
## <投資指標>

連結	
今期予想PER	12.0 倍
PBR	1.68 倍
予想配当利回り	0.00 %

ペットに関する医療需要は増加すると見込んでいます。ペットの高齢化やペット 1 頭にかけている診療費も含む飼育費が増加しているからです。こうした事業環境下で、日本動物高度医療センターの事業成長のためには、獣医師の採用を行い、獣医師数を継続的に増加させる事が課題となっています。

獣医師の採用では、日本動物高度医療センターの想定を下回っているのが現状です。短期的にはコロナ禍で、学会の開催が減少するなど対人的な接触の機会が減少した事も影響しているようです。獣医師の採用を進め獣医師数を増加させる事で増加する需要を取り込む事が、引き続き日本動物高度医療センターの課題となっています。

日本動物高度医療センターの業績は、短期的な景気変動の影響を受け難い事から、先行き景気後退が予想される下では相対的に投資対象として評価されると筆者は見ています。また、2024 年 3 月期から大阪病院の開設で事業成長が見込める事も投資対象として評価できると筆者は考えています。



出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

## NexTone (7094)

笹木 義次

## 株価指標

株価 (2022/9/22) 3,760.0 円  
 売買単位 100株  
 市場 東証グロース  
 時価総額 368 億円

## 事業概要

NexTone は、音楽著作権の管理を行っています。音楽著作権の利用者から使用料を徴収して、音楽著作権の所有者へ分配しています。また、音楽著作権の利用促進にも取り組んでいます。著作権管理業務、デジタルコンテンツディストリビューション業務(DD 業務)、キャッシング事業、その他から構成されています。

## NexTone の特徴

NexTone が行っている音楽著作権事業は参入障壁が高い事が特徴です。日々膨大で複雑な著作権利用に係るデータや情報のシステム管理が必要です。さらに、著作権の使用料の徴収や、著作権所有者への分配金を支払うための実務能力が必要となります。こうしたシステム管理や実務能力は負担となり参入障壁になっています。

NexTone では音楽著作権の管理のみならず利用促進に取り組んでいる事も特徴になっています。音楽著作権は利用者に利用されないと意味がないからです。NexTone では音楽著作権の利用者に対して楽曲の利用状況のデータを活用して利用促進を図っています。

## 2023年3月期第1四半期業績

NexTone の 2023 年 3 月期第 1 四半期の業績は、売上高が 20 億 9 百万円と前年同期比で 18.5%の増収に、営業利益は 96 百万円と前年同期比で 33.3%の減益となりました。

## &lt;業績の推移&gt;

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2021/3	6,122	539	540	376	40.7	0.0
2022/3	7,489	708	713	482	50.0	0.0
2023/3計	9,560	890	890	540	56.0	0.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

## &lt;投資指標&gt;

連結	
今期予想PER	67.5 倍
PBR	12.20 倍
予想配当利回り	0.00 %

DD 業務の売上高が 17 億 31 百万円と前年同期比で 19.6%の増収となった事から、全体の売上高の増収に寄与しました。ボカロ P や次世代アーティストの原盤を管理している事が売上高の増収に繋がりました。著作権管理業務の売上高は 2 億 18 百万円と前年同期比で 19.8%の増収に留まりました。2022 年 1 月から 3 月の期間で、アーティストの新譜リリースが少なかった事が影響しました。

営業利益の減益は人件費の増加によります。役員退職慰労金制度の廃止による役員退職慰労引当金を 90 百万円程度積み増したからです。制度変更による一過性の費用の増加です。

## 2023年3月期業績計画

NexTone では、2023 年 3 月期の業績は、売上高が 95 億 60 百万円と前年比で 27.6%の増収を、営業利益は 8 億 90 百万円と前年比で 25.6%の増益を計画しています。2022 年は有力アーティストが周年イベントを迎える事から、コロナ禍で低調だった新譜リリースの回復を見込んでいます。

7094#0 NexTone 東証 選定 21/3/15~22/9/20  
 日付:22/9/22 始:3720 高:3785 安:3625 現値:3760 -15 出来高:44.4  
 W:20/9/22 株価移動平均[10] --- [20] ..... MA13:3819.85 MA20:3398.00  
 S1:出来高[18]-----[28]..... V:122.1 MA13:342.746 MA28:478.186



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

## 金融商品取引法に基づく表示事項

### ■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

### 株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

### お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

### 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント  
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報  
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa